

Let's make it come true!

想いをかたちに

今町小学校改築検討会ニュース

発行:見附市教育委員会 教育総務課
電話:0258(62)1700 内線411

今小改築検討会が発足しました

築後40年を経過した今町小学校。
一昨年の中越大震災でも多大な被害を受け、学校改築について検討を進めていくことになりました。

検討を進めるにあたっては、地域にお住まいの方々のお考えやアイデア等もお聞きするなど、地域に開かれた新たな手法を取り入れることとし、11名による「今小改築検討会」が発足、第1回目の会議が平成18年9月26日に今町小学校を会場に開催されました。

今小改築検討会の目指すべき活動の方向は、学校建築におけるコンセプト（基本理念）についての意見交換を行い、これらを今後の基本設計に反映させていくことを目的としています。

今小改築検討会委員（敬称略）
今町小学校 校長 今井 崇
今町小学校 学校評議員 岡 茂男



第1回「今小改築検討会」が開催されました。

今町小学校 P T A 石川 睦実
今町小学校 P T A 笹川 秋彦
今町地区子どもの安全・安心を守る地域連絡会 清水 満
今町未来予想図 若杉 リツ
今町まちづくり会 五十嵐幸一
見附市体育指導委員 堀 文昭
今町地区区長連絡協議会 信賀 弘章
今町地区区長連絡協議会 武田定佐久
アドバイザー
東洋大学工学部教授 長澤 悟

目次：

今小改築検討会発足

新しい学校づくりに向けた講演会が開催されました

今小改築検討会活動計画

今小改築検討会情報は、市教委ホームページで配信

貴重なご意見をいただきました。



新しい学校づくりに向けた講演会が開催されました

学校建築の分野に精通され、文部科学省の各種調査研究会委員を歴任される東洋大学工学部長澤教授をお迎えし、基調講演を開催しました。



今小改築検討会アドバイザー 長澤教授

講演概要

学校づくりを進める際に最初に大切なことは、新しい「観」、言い換えれば「見方」を持つということである。今までの経験を大事にすると同時に、経験の枠の中だけでなく、今後の社会状況を踏まえ、その中でどういう見方をしていくか、これは新しい「子供観」であり、「教育観」、そして「学校観」につながっていくものである。新しい見方を持つためには、皆がもう一度「学校とは」と考える事が大

事である。そして、それを自分達の学校づくりの理念・目標として仕立てていくこと、皆が議論しながら進める際には、様々な意見をもつ人がいたり、新しいことに対しての不安を抱くこともあるだろう。だからといって、他の意見を除外していく事では素晴らしい学校をつくることはできない。様々な問題について議論を重ね、時として再度立ち戻ることも大切な意味をもつこともある。

学校建築の課題には、「7+1」といったキーワードを目標にしながら考えていく事が必要である。1.高機能で柔軟性のある学校 2.情報化に対応した学校 3.人間的なゆとりと潤いのある生活空間をもった学校 4.地域に開かれ連携した学校 5.安全で安心して学校生活がおくれる健康的な学校 6.誰にでもやさしい学校 7.地球環境に配慮した学校、そしてこれらにプラスして、長く使い続けることができる学校を目指していきたい。

想いをかたちに

今町小学校改築検討会ニュース

今小改築検討会活動計画

学校に、世代を超えた想いを伝えていく場としての意味合いがある
とすると、3世代4世代にわたって大事にされるような学校でなければ
ならない。戦後の鉄筋校舎は、平均して30年位で建て替えられ、次
の世代へつなげることができなかった。究極は、皆で夢を語り合い、
想いを込めて物語として語り継がれる学校づくり、みんなに大事にさ
れ、思い出を継承していくことが可能な学校づくり。

そんな“みんなの想い”をかたちにすることのできる「今町小学校
建築検討」を是非ともスタートしたい。

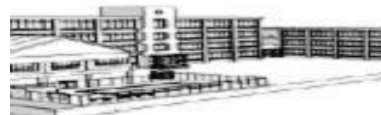


基調講演に聴き入る参加者

今小改築検討会構成メンバーは、「学校」「保護者」そして「地域」といった様々な枠組みの中から参
加いただき、今町小学校改築に向けての夢や期待
をおおいに語り合っていたることとしています。

今小改築検討会活動計画(案)

- 第1回 検討会発足・講演会
- 第2回 学校視察研修会
- 第3回 テーマ「子ども達の生活の場としての学校」
- 第4回 テーマ「地域住民の交流の場としての学校」
- 第5回 テーマ「子ども達の学習の場としての学校」
- 第6回 活動のまとめ



貴重なご意見をいただきました

長澤教授による基調講演会参加者のみなさんへ
「今町小学校改築に伴うアンケート」をお願いし
たところ、次のような提案やご意見をいただくこ
とができました。

今小へ足を運べば「いつも安らぐ風景があり、
幸福な気持ちになる」そんな学校であって欲しい。
住宅建材だけでなく、自然素材である木材
を使い、通気性のある空間の質を大切にしたい。
子ども達が明日もまた学校に行くのが楽しく
なるような学校であって欲しい。バリアフ
リーに対応した学校にして欲しい。

子ども達が活用しやすい施設づくりに配慮願いたい。

様々な場面で間取りの形態が変えられる学校にして欲しい。
メンテナンスが容易な学校に。学童保育も可能な学校や広い駐
車スペースが欲しい。雪国なので長靴が簡単に下駄箱に入れら
れるように配慮して欲しい。学校の周囲に散歩道をつくって欲
しい。

特別支援学級(障害児学級)を
有する学校としては、次の点に
配慮して欲しいと思う。

交流教育を重視する点から、
校舎の中心に明るい教室を設置
して欲しい。



築40年を経過した現今町小学校校舎

花壇や学校畑に出入することが可能な教室が欲
しい。

用途にあわせて間仕切り可能な構造が欲しい。
体を休め、心を癒すことのできる静かな個室の
設置。

様々な教材をストック可能な部屋の設置。

排泄が上手にできなかった子どもへの対応とし
てトイレにシャワー室を設置してもらいたい。

卓球台を常時設置できるフリースペースが欲
しい。きれいでさわやかなトイレ、男女別更衣室、冷
暖房整備、楽しく食事ができるスペース、休憩し
たり友達と談笑できるスペースを整備してはど
うか? 個々に応じた学習空間が必要であり、教科
学習と多目的な教室を使い分けるという考えが必
要だと思います。

地域の人々とともに子どもたちが同時に学ぶということを積
極的に取り入れていくべきではないか。

多数の皆様“想い”を今後の検討材料とさせていただきます

今小改築検討会情報を「市教委ホームページ」で随時配信してい
ます。

また、現在、「今町小学校新校舎建設に関するアンケート」を実施
しています。多くの市民のみなさまの想いをお聞かせください。

URL : <http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/mt/>